



卒業証書を受け取る卒業生＝平成淡路看護専門学校

# 平成淡路看護専門学校 医療の現場へ 強い決意胸に 卒業式、36人巣立ち

南あわじ

南あわじ市広田広田の平成淡路看護専門学校で3日、卒業式が開かれた。6期生36人が、新型コロナウイルスの流行下で過ごした学園生活を振り返りつつ、希望を胸に巣立った。

本年度の卒業生は、入学時からコロナ禍の影響を受け、入学式などの学校行事は軒並み中止になった。マスク姿で3年間を過ごし、病院での研修も中止や縮小を余儀なくされた。

この日の式で、同校の北河宏之校長は「コロナ禍で変化を受け入れ、考えて工夫することを実践してきたと思う。医療現場は甘くないが、楽しむことを常に忘れないように、人として考えて人として感じながら、

温かい看護師を目指してほしい」と祝辞を送った。

卒業生代表の谷妃菜乃さん(25)は答辞で、遠隔授業

で友人と顔を合わせられなかった日々や、実習が学内で行われたことを述懐。「不安や焦りで壁にぶつかることも多いと思う。大変な状況にもかかわらず受け入れてくれた病院や患者さんなど、支えてくださった方への感謝を忘れず、看護師として新たな一歩を踏み出したい」と力を込めた。

(荻野俊太郎)